2014 年 9 月 11 日

各位

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
（コード番号：8729　東証第一部）

本日、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社の 100%子会社であるソニー生命保険株式会社が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせします。

記

ソニー生命保険株式会社　プレスリリース（添付）
シニアの生活意識調査 2014

以上

【お問合せ先】
ソニー生命保険株式会社　広報部広報課　（電話：03-3475-8813）

2014 年 9 月 11 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

ソニー生命調べ／全国のシニア（50 歳～79 歳の男女）1,000 名にアンケート

シニアも悪くないな”と感じるのは「自分の知識・経験が役立ったとき」 約 4 割
“シニアライフの生活設計に不安”が 6 割半、でも“楽しんでいる・楽しむ自信がある”は 5 割半

現在は医療技術の発達などにより、平均寿命が伸び、リタイア後には、より多くの時間が得られるようになりました。本格的なシニアライフを安心して楽しく過ごしたいと考えている 50 代の方、これからもっと充実したシニアライフを送りたいと考えている 60・70 代の方も多いのではないでしょうか。

シニアライフを前向きに楽しむことを提案しているソニー生命では、シニアの将来設計に役立つ情報を発信すべく、アンケートの結果を公開しました。

◆本調査結果の要約◆

■ POINT 1・2 【シニアであること】(P.3-4)

⇒ “自分がシニアになったな”と感じるとき 1 位は「小さな文字が見づらくなったとき」

どのようなときに“自分がシニアになったな（年をとったな）”と思うか聞いたところ、「小さな文字が見づらくなったとき」（56.1%）が最も多く、僅差で「人やモノの名前がなかなか出てこないとき」（54.8%）が続き、以下、「白髪が増えたと感じたとき」（48.2%）、「運動の際に思ったよりも体が動かなかったとき」（41.0%）、「シワが増えたと感じたとき」（30.3%）、「髪のボリュームが減ったと感じたとき」（28.1%）の順で続きました。

⇒ “シニアも悪くないな”と感じるのは「自分の知識・経験が役立ったとき」 約 4 割

どのようなときに“シニアも悪くないな（捨てたもんじゃない）”と思うか聞いたところ、最も多かったのは「自分の知識・経験が役立ったとき」（37.7%）、ほぼ同率で「のんびり過ごせているとき」（37.5%）となり、以下、「平日に旅行や観光に行けたとき」（28.1%）、「施設入場料や交通機関などで“シニア割引”が使えたとき」（26.6%）、「以前は気づかなかった“モノの良さ”（景色など）に気づいたとき」（25.6%）、「子どもや孫の成長を感じられたとき」（24.4%）と続きました。

■ POINT 3 【悪気がなくてもシニアがされるといい気がしないこと】(P.6)

⇒ されるといい気がしないこと 「家族以外から“おじいちゃん・おばあちゃん”」が 5 人に 1 人

相手に悪気がなくても、されるといい気がしないことを聞いたところ、「特にない」が 42.1%となり、4 割強のシニアがそのようなことはないとしました。また一方で、「家族以外から“おじいちゃん・おばあちゃん”と呼ばれる」（21.2%）や「“高齢者”と自分たちを年齢でひとくくりにされる」（21.1%）では約 2 割、「会話の際に小さい子どもと話すかのように話される」（14.9%）や「“シニア向け”や“高齢者向け”と書かれた商品・サービスを勧められる」（14.7%）では 1 割半のシニアが、相手に悪気がなくても、されるといい気がしないこととして挙げました。

■ POINT 4 【シニアの将来設計】(P.7)

⇒ “シニアライフの生活設計に不安”が 6 割半、でも“楽しんでいる・楽しむ自信がある”は 5 割半

シニアライフにおける将来設計について聞いたところ、《シニアライフの生活設計》では、「シニアライフの生活設計はできていて安心だ」が 35.0%、「シニアライフの生活設計は見直せておらず不安だ」が 65.0%と不安を感じているシニアが 3 人に 2 人の割合となりました。その一方で、《シニアライフを楽しむ》では、「シニアライフを楽しんでいる（楽しむ自信がある）」が 56.9%、「シニアライフを楽しめていない（楽しむ自信がない）」が 43.1%とシニアライフを楽しんでいる・楽しむ自信があるシニアが過半数を占めました。

■ POINT 5 【シニアの SNS 利用】(P.11)

⇒ シニアの 4 人に 1 人が Facebook ユーザー、6 人に 1 人が LINE ユーザー

SNS の利用について聞いたところ、現在利用しているシニアの割合は、43.5%となりました。年代別にみると、50 代では 49.0%と半数となり、60・70 代では 38.0%でした。そして、現在利用している SNS をみると、「Facebook」（25.8%）が最も多くなり、「LINE」（16.2%）、「Twitter」（15.5%）、「mixi」（7.3%）と続きました。

2014 年 9 月 11 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

シニアの生活意識調査 2014

【シニアであること】

“自分がシニアになったな”と感じるとき　1 位は「小さな文字が見づらくなったとき」
シニアを実感するシーンで男女差　女性は“白髪・シワ・髪のボリュームなど外見の変化”

“シニアも悪くないな”と感じるのは「自分の知識・経験が役立ったとき」 約 4 割
60・70 代では「時間的な余裕」「シニア割」「孫などとのふれあい」でもシニアの良さを実感

【悪気がなくてもシニアがされるといい気がしないこと】

されるといい気がしないこと 「家族以外から“おじいちゃん・おばあちゃん”」が 5 人に 1 人

【シニアの考えるカッコいいシニア像】

半数のシニアがイメージするカッコいいシニア像 「社会のマナーやルールを守れる」
「高い志や社会貢献意識を持っている」を 4 人に 1 人がカッコいいシニア像に
シニア女性からモテるためのアイテムは「オシャレな服装」や「豊富な文芸知識」？

【シニアの将来設計】

“シニアライフの生活設計に不安”が 6 割半、でも“楽しんでいる・楽しむ自信がある”は 5 割半
“家族にできるだけ多くの資産を残したい”4 割
介護に対する意識 “介護施設に入るなどして自分たちの力でなんとかしたい”9 割弱

【シニアの生活観】

シニアが生活で大切にしているもの 「健康」「お金」「子ども・孫」「パートナー」「趣味」
シニア女性はキレイに歳を重ねたい！　3 割が「美容」を大切にしている
シニアライフを楽しむ秘訣は“趣味”“人との交流”“食生活”“健康”の充実！？

イキイキシニアライフに必要　1 位「家族との絆」、2 位「趣味や価値観を共有できる人との交流」
女性では 3 割半が「オシャレ」、3 割が「困ったときに相談できる場所」

【シニアの SNS 利用】

シニアの 4 人に 1 人が Facebook ユーザー、6 人に 1 人が LINE ユーザー
SNS を利用するシニアの 9 割が今後も SNS を「利用したい」

【シニアの楽しみ】

シニアが今後、優先的に時間とお金を費やしたい　1 位「趣味」、2 位「パートナーとの絆づくり」
シニアライフを楽しむシニアは、今後さらに増えていく！？

このたび、ソニー生命保険株式会社（代表取締役社長　井原　勝美）は、2014 年 7 月 11 日～7 月 13 日の 3 日間、全国のシニア（50～79 歳の男女）に対し、「シニアの生活意識調査 2014」をインターネットリサーチで実施し、1,000 名の有効サンプルの集計結果を公開しました。
（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

2014 年 9 月 11 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

アンケート調査結果

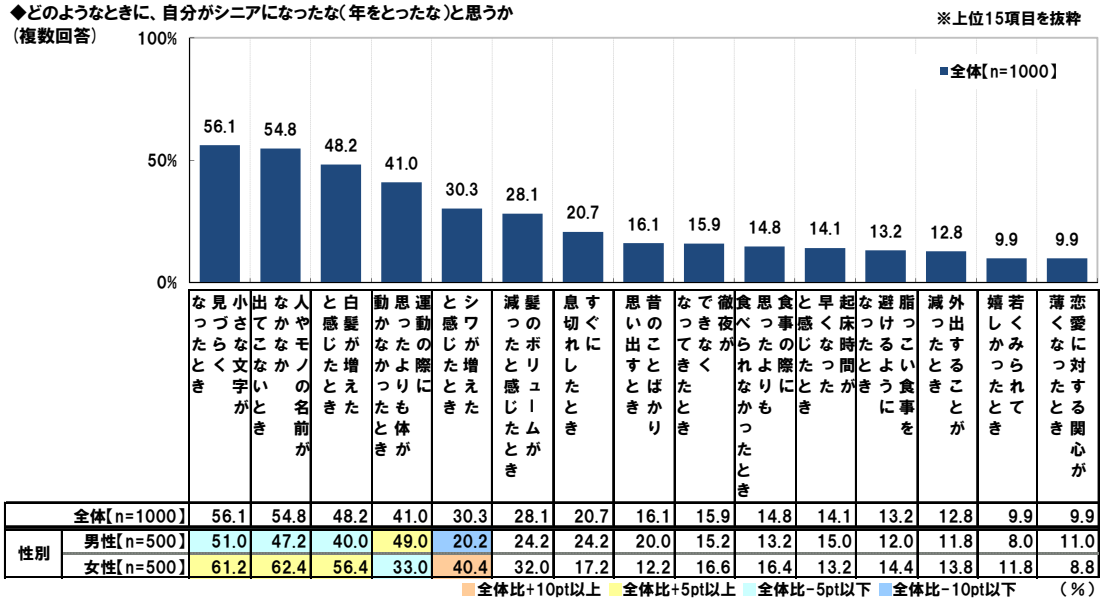
◆“自分がシニアになったな”と感じるとき　1 位は「小さな文字が見づらくなったとき」
◆シニアを実感するシーンで男女差　女性は“白髪・シワ・髪のボリュームなど外見の変化”

シニアは、どのようなときに、自分がシニアになったことを実感しているのでしょうか。

全国の 50 歳～79 歳の男女 1,000 名（全回答者）に、どのようなときに“自分がシニアになったな（年をとったな）”と思うか聞いたところ、「小さな文字が見づらくなったとき」（56.1%）が最も多く、僅差で「人やモノの名前がなかなか出てこないとき」（54.8%）が続き、以下、「白髪が増えたと感じたとき」（48.2%）、「運動の際に思ったよりも体が動かなかったとき」（41.0%）、「シワが増えたと感じたとき」（30.3%）、「髪のボリュームが減ったと感じたとき」（28.1%）の順で続きました。身体の衰えや外見の変化によって年をとったことを感じるシニアが多いようです。

男女別にみると、“身体の衰え”によって自覚をするのは女性よりも男性のようで、「運動の際に思ったよりも体が動かなかったとき」は女性の 33.0%に対し、男性では 49.0%と半数になりました。一方、“外見の変化”によって自覚をするのは男性よりも女性のようで、「白髪が増えたと感じたとき」（男性 40.0%、女性 56.4%）や「シワが増えたと感じたとき」（男性 20.2%、女性 40.4%）、「髪のボリュームが減ったと感じたとき」（男性 24.2%、女性 32.0%）では女性のほうが高くなりました。（図 1）

（図 1）



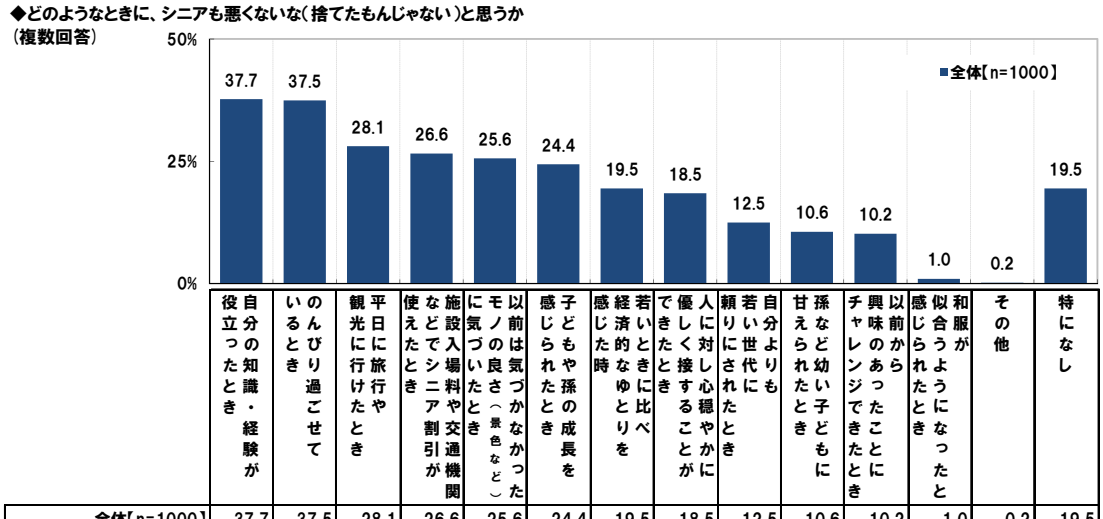
NEWS LETTER (調査レポート)

◆“シニアも悪くないな”と感じるのは「自分の知識・経験が役立ったとき」 約 4 割
◆60・70 代では「時間的な余裕」「シニア割」「孫などとのふれあい」でもシニアの良さを実感

身体の衰えや外見の変化を感じるシーンでシニアになったと実感している人が多いことがわかりましたが、全回答者（1,000 名）に、どのようなときに“シニアも悪くないな（捨てたもんじゃない）”と思うか聞いたところ、最も多かったのは「自分の知識・経験が役立ったとき」（37.7%）、ほぼ同率で「のんびり過ごせているとき」（37.5%）となり、以下、「平日に旅行や観光に行けたとき」（28.1%）、「施設入場料や交通機関などで“シニア割引”が使えたとき」（26.6%）、「以前は気づかなかった“モノの良さ”（景色など）に気づいたとき」（25.6%）、「子どもや孫の成長を感じられたとき」（24.4%）と続きました。

年代別にみると、「のんびり過ごせているとき」（50 代 26.4%、60・70 代 48.6%）や「平日に旅行や観光に行けたとき」（50 代 13.4%、60・70 代 42.8%）では、50 代に比べ 60・70 代が高くなりました。また、「施設入場料や交通機関などで“シニア割引”が使えたとき」（50 代 14.6%、60・70 代 38.6%）や「孫など幼い子どもに甘えられたとき」（50 代 4.8%、60・70 代 16.4%）でも 60・70 代のほうが高くなりましたが、「特になし」（50 代 27.0%、60・70 代 12.0%）は、50 代のほうが高くなりました。60・70 代では、“時間的な余裕”や“シニア割”、“孫などとのふれあい”などによって 50 代よりもシニアの良さを感じられているようです。（図 2）

（図 2）



		自分の知識・経験が役立ったとき	のんびり過ごせているとき	平日に旅行や観光に行けたとき	施設入場料や交通機関などでシニア割引が使えたとき	以前は気づかなかったモノの良さ（景色など）に気づいたとき	子どもや孫の成長を感じられたとき	若いときに比べ経済的なゆとりを感じた時	人に対し心穏やかに優しく接することができたとき	自分よりも若い世代に頼りにされたとき	孫など幼い子どもに甘えられたとき	以前から興味のあったことにチャレンジできたとき	和服が似合うようになったと感じられたとき	その他	特になし
全体【n=1000】		37.7	37.5	28.1	26.6	25.6	24.4	19.5	18.5	12.5	10.6	10.2	1.0	0.2	19.5
年代	50代【n=500】	37.0	26.4	13.4	14.6	24.0	20.6	16.4	18.0	14.0	4.8	8.0	0.8	-	27.0
	60・70代【n=500】	38.4	48.6	42.8	38.6	27.2	28.2	22.6	19.0	11.0	16.4	12.4	1.2	0.4	12.0

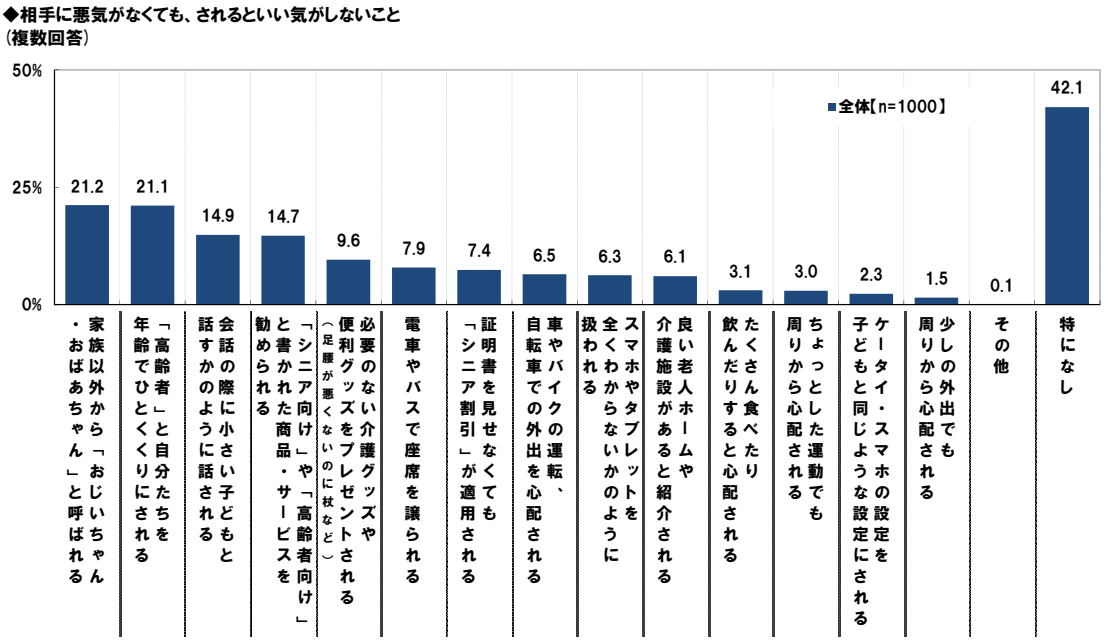
全体比+10pt以上　全体比+5pt以上　全体比-5pt以下　全体比-10pt以下　（%）

NEWS LETTER (調査レポート)

◆されるといい気がしないこと 「家族以外から“おじいちゃん・おばあちゃん”」が 5 人に 1 人

シニアの良さを感じられるシーンは多岐にわたっていましたが、全回答者（1,000 名）に、相手に悪気がなくても、されるといい気がしないことを聞いたところ、「特にない」が 42.1%となり、4 割強のシニアがそのようなことはないとしました。また一方で、「家族以外から“おじいちゃん・おばあちゃん”と呼ばれる」（21.2%）や「“高齢者”と自分たちを年齢でひとくくりにされる」（21.1%）では約 2 割、「会話の際に小さい子どもと話すかのように話される」（14.9%）や「“シニア向け”や“高齢者向け”と書かれた商品・サービスを勧められる」（14.7%）では 1 割半のシニアが、相手に悪気がなくても、されるといい気がしないこととして挙げました。例え身体の衰えや外見の変化によって、自分自身で年をとったと感じていても、周囲の人から年寄り扱いをされることには、抵抗を感じるのかもしれません。（図 3）

（図 3）



2014 年 9 月 11 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

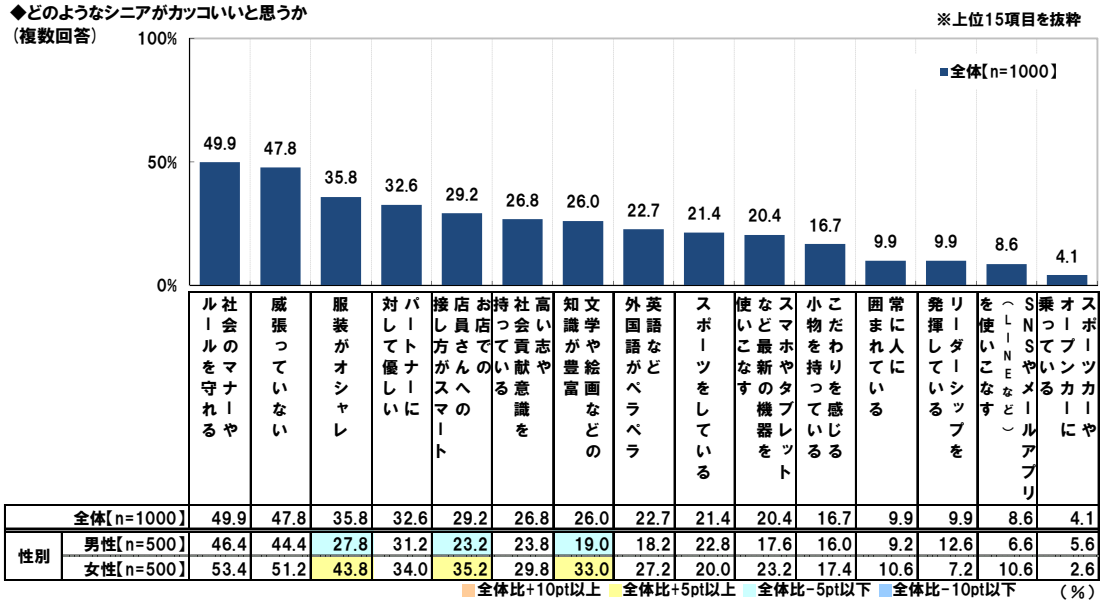
◆半数のシニアがイメージするカッコいいシニア像 「社会のマナーやルールを守れる」
◆「高い志や社会貢献意識を持っている」を 4 人に 1 人がカッコいいシニア像に
◆シニア女性からモテるためのアイテムは「オシャレな服装」や「豊富な文芸知識」？

シニアにとって“カッコいいシニア像”とは、どのようなものなのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に対し、どのようなシニアがカッコいいと思うか聞いたところ、「社会のマナーやルールを守れる」（49.9%）が最も多く、次いで、「威張っていない」（47.8%）、「服装がオシャレ」（35.8%）、「パートナーに対して優しい」（32.6%）、「お店での店員さんへの接し方がスマート」（29.2%）が続きました。ファッションだけではなく、社会や人との接し方でもカッコよさを判断するシニアが多いようです。また、「高い志や社会貢献意識を持っている」（26.8%）や「文学や絵画などの知識が豊富」（26.0%）も 4 人に 1 人がカッコいいシニア像として挙げました。

男女別にみると、「服装がオシャレ」（男性 27.8%、女性 43.8%）や「お店での店員さんへの接し方がスマート」（男性 23.2%、女性 35.2%）、「文学や絵画などの知識が豊富」（男性 19.0%、女性 33.0%）では、男性よりも女性のほうがカッコいいシニア像として挙げた割合が高くなりました。他方、「リーダーシップを発揮している」では、女性（7.2%）に比べ男性（12.6%）のほうが高くなりました。（図 4）

（図 4）



NEWS LETTER (調査レポート)

◆“シニアライフの生活設計に不安”が 6 割半、でも“楽しんでいる・楽しむ自信がある”は 5 割半
◆“家族にできるだけ多くの資産を残したい”4 割
◆介護に対する意識 “介護施設に入るなどして自分たちの力でなんとかしたい”9 割弱

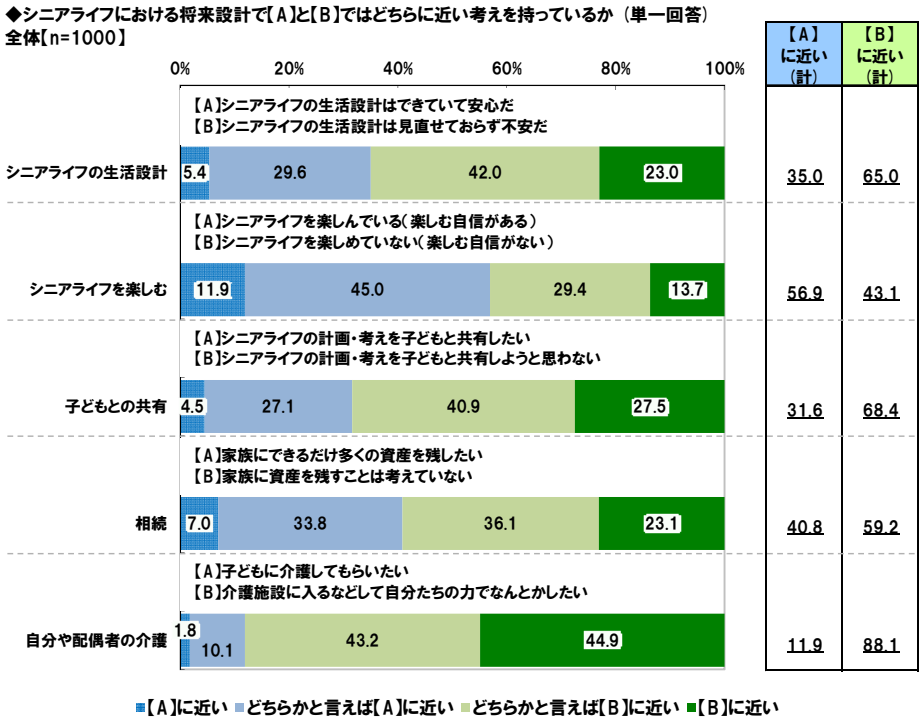
シニアは、将来設計に対し、どのような意識や考えを持っているのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に、シニアライフにおける将来設計について聞いたところ、《シニアライフの生活設計》では、「シニアライフの生活設計はできていて安心だ」が 35.0%、「シニアライフの生活設計は見直せておらず不安だ」が 65.0%と不安を感じているシニアが 3 人に 2 人の割合となりました。その一方で、《シニアライフを楽しむ》では、「シニアライフを楽しんでいる（楽しむ自信がある）」が 56.9%、「シニアライフを楽しめていない（楽しむ自信がない）」が 43.1%とシニアライフを楽しんでいる・楽しむ自信があるシニアが過半数を占めました。生活設計について不安を感じつつもシニアライフを満喫しているシニアが多いようです。

また、シニアライフにおける家族との関わりについても聞いたところ、《子どもとの共有》では「シニアライフの計画・考えを子どもと共有したい」が 31.6%、《相続》では「家族にできるだけ多くの資産を残したい」が 40.8%となり、どちらも半数を下まわる結果となりました。

さらに、介護に関する考えについても聞いたところ、《自分や配偶者の介護》では「子どもに介護してもらいたい」11.9%に対し、「介護施設に入るなどして自分たちの力でなんとかしたい」は 88.1%と自分たちの力でなんとかしたいと考えているシニアが大多数を占めました。（図 5）

（図 5）



NEWS LETTER (調査レポート)

◆シニアが生活で大切にしているもの 「健康」「お金」「子ども・孫」「パートナー」「趣味」
◆シニア女性はキレイに歳を重ねたい！ 3 割が「美容」を大切にしている
◆シニアライフを楽しむ秘訣は“趣味”“人との交流”“食生活”“健康”の充実！？

それでは、シニアは、現在の生活においてどのようなことを大切にしているのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に、現在の生活において大切にしているものを聞いたところ、「健康」が84.3%と際立って高く、次いで、「お金」（56.9%）、「子ども・孫」（55.7%）、「パートナー（妻・夫・恋人）」（52.5%）、「趣味」（51.2%）が 5 割台で続きました。

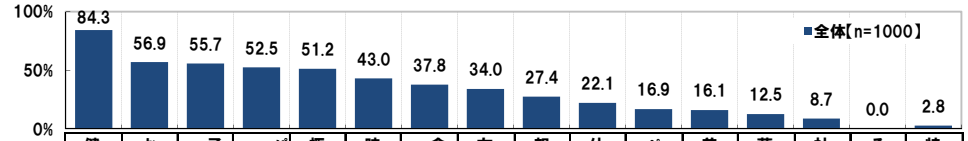
男女別にみると、「美容」は男性（2.0%）より女性（30.2%）のほうが高くなり、“キレイに歳を重ねたい”というシニア女性の思いがうかがえる結果となりました。（図 6）

また、シニアライフにおける将来設計の質問（P.7 参照）では、シニアライフを楽しんでいる・楽しむ自信があるシニアのほうが、そうではないシニアよりも多くなりましたが、大切にしているものに違いはあるのでしょうか。

シニアライフを楽しんでいる・楽しむ自信があるシニアとそうではないシニアとで大きな開きがあったのは、「趣味」（楽しんでいる・楽しむ自信あり層 62.6%、楽しんでいない・楽しむ自信なし層 36.2%、以下同順）、「パートナー（妻・夫・恋人）」（58.7%、44.3%）、「友人」（39.7%、26.5%）、「食事・お酒」（43.2%、30.6%）、「健康」（88.9%、78.2%）でした。“趣味”や“人との交流”、“食生活”、“健康”を充実させることが、シニアライフを楽しむ秘訣なのかもしれません。（図 7）

（図 6）

◆現在の生活において大切にしているもの
（複数回答）

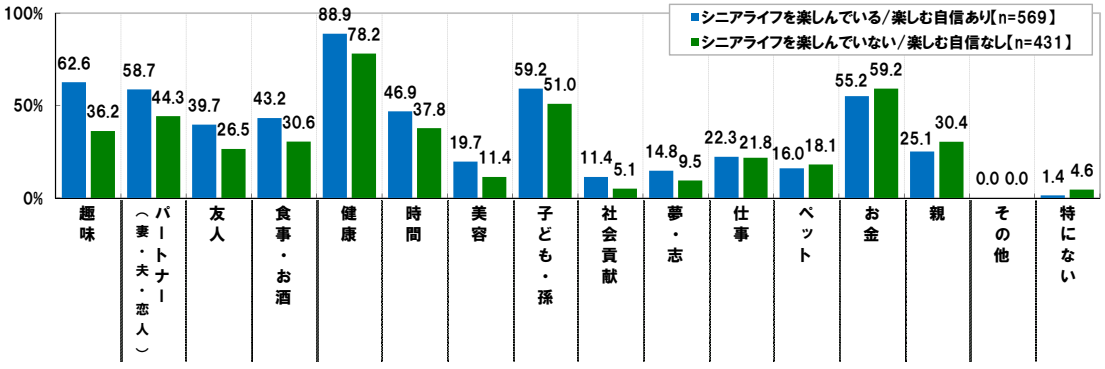


		健康	お金	子ども・孫	パートナー（妻・夫・恋人）	趣味	時間	食事・お酒	友人	親	仕事	ペット	美容	夢・志	社会貢献	その他	特にない
全体【n=1000】		84.3	56.9	55.7	52.5	51.2	43.0	37.8	34.0	27.4	22.1	16.9	16.1	12.5	8.7	-	2.8
性別	男性【n=500】	80.4	52.0	46.2	53.8	51.6	36.0	33.0	25.6	24.0	26.2	12.0	2.0	13.6	9.0	-	4.0
	女性【n=500】	88.2	61.8	65.2	51.2	50.8	50.0	42.6	42.4	30.8	18.0	21.8	30.2	11.4	8.4	-	1.6

全体比+10pt以上　全体比+5pt以上　全体比-5pt以下　全体比-10pt以下　（%）

（図 7）

◆現在の生活において大切にしているもの_タイプ別（シニアライフを楽しんでいる/楽しんでいない）
（複数回答）　※シニアライフを楽しんでいる・楽しむ自信があるシニアとそうではないシニアとの差が大きい順に並べ替え



NEWS LETTER (調査レポート)

◆イキイキシニアライフに必要　1 位「家族との絆」、2 位「趣味や価値観を共有できる人との交流」
女性では 3 割半が「オシャレ」、3 割が「困ったときに相談できる場所」

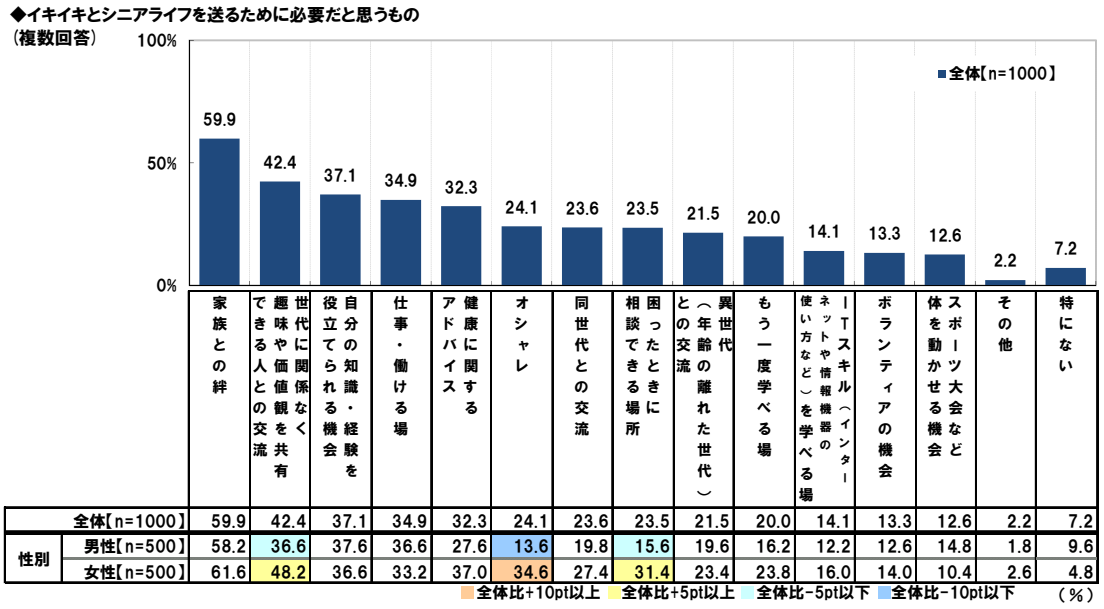
シニアライフを楽しんでいる・楽しむ自信があるシニアと楽しんでいない・楽しむ自信がないシニアとでは、現在の生活において大切にしているものに違いがみられました。それでは、イキイキとシニアライフを送るためには、何が必要だと思われているのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に聞いたところ、最も多かったのは「家族との絆」（59.9%）で、次いで、「世代に関係なく趣味や価値観を共有できる人との交流」（42.4%）、「自分の知識・経験を役立てられる機会」（37.1%）や「仕事・働ける場」（34.9%）が続きました。“家族”や“趣味・価値観を共有できる人”、“自分のことを必要としてくれる人”など、イキイキとしたシニアライフには、周囲の人との関係の充実が大切だと思われている様子がうかがえました。

男女別にみると、「オシャレ」は、女性では 34.6%と男性（13.6%）の 2 倍以上の割合となり、ここでもシニア女性の“美しくありたい”との思いが感じられました。

また、「困ったときに相談できる場所」でも女性では 31.4%となり、男性（15.6%）の 2 倍以上の割合となりました。シニアライフでは、困ったときに気軽に相談できる人が周囲にいると、心強く感じられることも多いのではないでしょうか。（図 8）

（図 8）



NEWS LETTER (調査レポート)

◆シニアの 4 人に 1 人が Facebook ユーザー、6 人に 1 人が LINE ユーザー
◆SNS を利用するシニアの 9 割が今後も SNS を「利用したい」

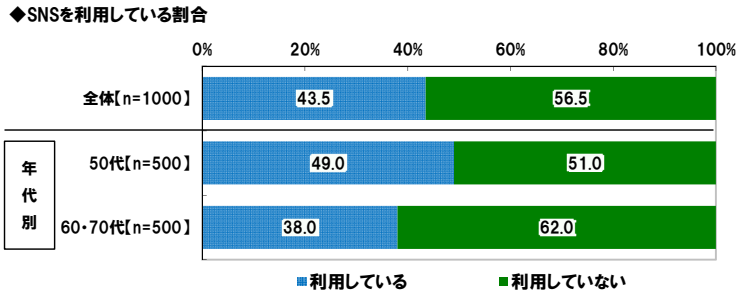
イキイキとしたシニアライフを送るためには、人間関係が大切だと思われている様子がうかがえましたが、SNS を通じて人間関係を築いているシニアもいるのではないでしょうか。

全回答者（1,000 名）に、SNS の利用について聞いたところ、現在利用しているシニアの割合は、43.5%となりました。年代別にみると、50 代では 49.0%と半数となり、60・70 代では 38.0%でした。（図 9）

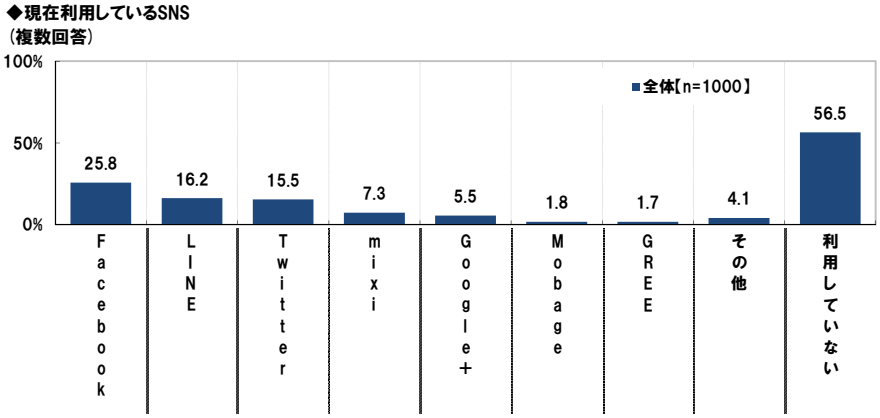
そして、現在利用している SNS をみると、「Facebook」（25.8%）が最も多くなり、「LINE」（16.2%）、「Twitter」（15.5%）、「mixi」（7.3%）と続きました。（図 10）

また、今後の SNS 利用意向も聞いたところ、現在 SNS を利用しているシニアでは 90.3%が今後も利用したいという意向を示しました。（図 11）

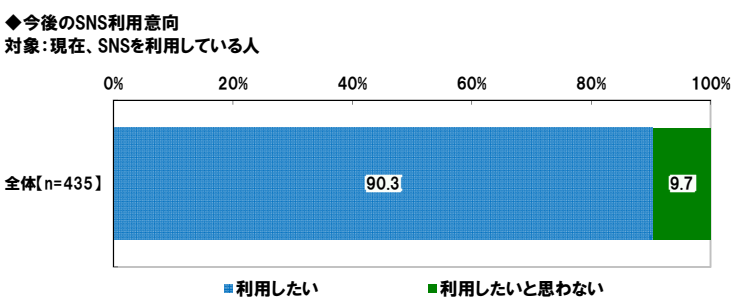
（図 9）



（図 10）



（図 11）



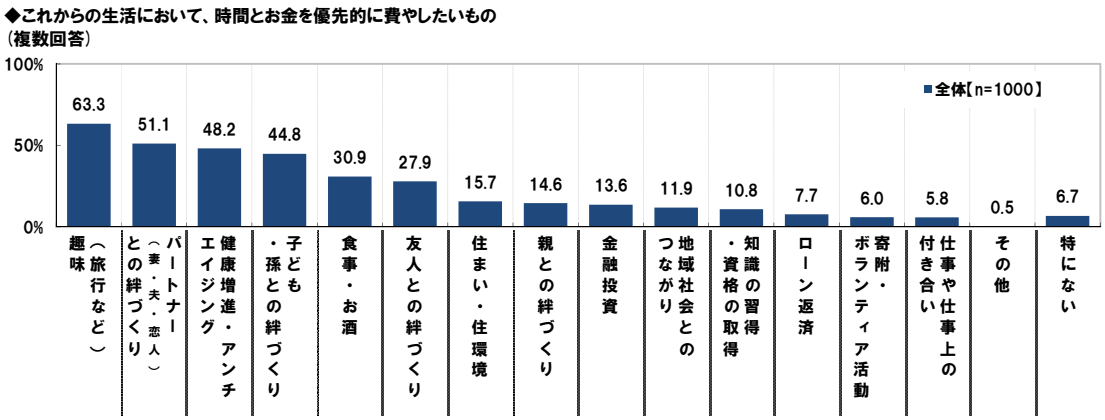
NEWS LETTER (調査レポート)

◆シニアが今後、優先的に時間とお金を費やしたい　1 位「趣味」、2 位「パートナーとの絆づくり」
◆シニアライフを楽しむシニアは、今後さらに増えていく！？

シニアは今後どのようなことに、時間とお金を優先的に費やしたいと考えているのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に聞いたところ、最も多かったのは「（旅行など）趣味」で 63.3%、次いで、「パートナー（妻・夫・恋人）との絆づくり」（51.1%）、「健康増進・アンチエイジング」（48.2%）、「子ども・孫との絆づくり」（44.8%）、「食事・お酒」（30.9%）、「友人との絆づくり」（27.9%）が続きました。シニアライフを楽しんでいるシニアがそうではないシニアよりも現在の生活で大切にしている割合が高かった“趣味”や“人との交流”、“健康”、“食生活”に優先的に時間とお金を費やしたいと考えているシニアが多いようで、今後、シニアライフを楽しむシニアは、さらに増えていきそうです。（図 12）

（図 12）



2014 年 9 月 11 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

注:本調査レポートの百分率表示は小数点第 2 位で四捨五入の丸め計算を行っているため、合計しても 100%とならない場合がございます。

《調査概要》

◆調査タイトル　:シニアの生活意識調査2014

◆調査対象　:ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
全国の50～79歳の男女

◆調査期間　:2014年7月11日～7月13日

◆調査方法　:インターネット調査

◆調査地域　:全国

◆有効回答数　:1,000サンプル(有効回答から性別×年代区分が均等になるように抽出)
(内訳)男性500名:50代250名/60代・70代250名
女性500名:50代250名/60代・70代250名

◆調査協力会社　:ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、

「ソニー生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申しあげます。

■■本調査に関するお問い合わせ窓口■■

ソニー生命保険株式会社　広報部　広報課　常松、大金
電話番号　:　03-3475-8813

■■会社概要■■

会社名　:ソニー生命保険株式会社
代表者名　:代表取締役社長　井原勝美
設立　:1979(昭和 54)年 8 月
所在地　:東京都港区南青山 1-1-1　新青山ビル東館　3 階
業務内容　:生命保険業

SL14-0691-0003